

日中環境汚染対策協力ゴールデンウィークの結果について  
(お知らせ)

資料 8

平成 21 年 7 月 6 日 (月)  
環境省水・大気環境局水・大気環境国際協力推進室  
代 表 03-3581-3351  
直 通 03-5521-8309  
室 長 和田 篤也 (内線 6670)  
補 佐 相澤 寛史 (内線 6560)  
環境省水・大気環境局大気環境課  
課 長 早水 輝好 (内線 6530)  
補 佐 山田 克之 (内線 6533)  
環境省水・大気環境局自動車環境対策課  
課 長 内藤 克彦 (内線 6520)  
補 佐 林 誠 (内線 6563)  
環境省水・大気環境局水環境課  
課 長 川崎 正彦 (内線 6610)  
補 佐 西 修 (内線 6618)  
環境省水・大気環境局閉鎖性海域対策室  
室 長 尾川 毅 (内線 6660)  
主 査 山田 拓也 (内線 6666)

6月23日から約2週間を、日中環境汚染対策協力ゴールデンウィークとし、環境汚染物質削減に係る政策対話やワークショップ等を集中的に実施しました。その中で、水環境、大気環境の保全やコベネフィット・アプローチについて、日本の総量削減等の制度の紹介や中国における導入の検討、今後の協力の進め方などが議論されました。これらの一連のイベントを通じて、今後とも日中において環境汚染対策分野における協力を一層深めることで合意しました。

## 1. 経緯

中国北京で開催された第11回日中韓環境大臣会合 (TEMM11) において、6月13日、斉藤環境大臣と周生賢 中国環境保護部長との二国間大臣会合が開催されました。その中で、統合的かつ集中的な日中環境汚染対策協力を行うことについて合意しました。

同合意に基づき、6月23日から約2週間を、日中環境汚染対策協力ゴールデンウィーク (中国語訳「中日汚染減排合作黄金周」) と位置付け、環境汚染物質削減に係る一連の協力イベントを集中的に実施しました。

## 2. 概要

### (1) 日中局長級政策対話

日中環境汚染対策協力ゴールデンウィークの開始に先立ち、局長級の政策対話を開催しました。その結果、農村地域等における分散型排水処理施設モデル事業を含む水環境協力については、複数の地域での事業の推進を確認するとともに、中国政府から同事業結果を踏まえ中国国内で広く普及する旨の意思表示がなされました。

今回から始まった窒素・りんの水質総量削減及び窒素酸化物の大気総量削減に係る協力の今後の一層の強化を確認しました。さらに、環境汚染対策と温暖化対策を同時に実現するコベネフィット・アプローチの協力を引き続き実施することを確認し、今後とも、両国の政策について緊密に意見交換をすることとしました。

## (2) 日中環境汚染対策協力ゴールデンウィークに開催された個別イベント

### ① 日中協力モデル事業に係る分散型排水処理施設完成竣工式典

江蘇省泰州市及び重慶市忠県において、分散型排水処理施設の完成竣工式典が行われました。泰州市の式典には周生賢中国環境保護部長らが、重慶市の式典には白石順一環境省水・大気環境局長らが出席しました。これらの施設は、排水処理が十分でない中国の農村地域における水環境改善対策の普及に向けたモデル事業として建設されたものです。喫緊の課題である水質汚染対策の解決に向け、地元政府とも協力しながら、順調に事業を進捗し、今回の竣工を迎えました。今後は、施設の運転管理を行いながら、管理手法や浄化効果の調査を行っていきます。

なお、泰州市の竣工式典に出席した周部長は、モデル事業の成果を普及するため、中国環境保護部の資金により泰州市で更に5つの排水処理施設を建設することを表明しました。

### ② 窒素・りんの水質総量削減に係る日中共同研究ワークショップ

中国における「第12次五カ年計画」の検討に向け、中国の国情に合った窒素及びりんの水質総量削減の実施方法案を作成するため、日本及び中国の水質総量削減制度に係る法制度、中国における窒素・りんの水質総量削減の実施手順、発生負荷量把握手法や測定方法等について議論が行われました。また、中国のモデル水域におけるフィージビリティスタディの実施等、今後の日中共同研究の進め方を協議しました。

### ③ 窒素酸化物の大気総量削減に係る日中共同研究ワークショップ

中国における「第12次五カ年計画」の検討に向け、大気汚染対策としての窒素酸化物の大気総量削減のため、日本及び中国における大気汚染の現状を互いに情報共有するとともに、日本における固定発生源・移動発生源に対する窒素酸化物の総量規制の基本的考え方及び総量規制指定地域の自治体における対策の実務面等を紹介しました。また、中国の実情に合ったNO<sub>x</sub>対策のあり方や今後の窒素酸化物の総量削減における日中協力について意見交換を行いました。

### ④ コベネフィット・アプローチ共同研究ワークショップ

途上国にとって喫緊の課題である環境汚染対策と世界規模での課題である温室効果ガス削減の同時達成に資するコベネフィット・アプローチについて、国際協力機構(JICA)や地球環境戦略研究機関(IGES)等の機関も参画し、国際動向、日本の取組、中国における研究動向、アジアへの展開に向けたフォーラム立ち上げの必要性等について議論が行われました。また、四川省パンジホア市をモデルとしたコベネフィット型プロジェクトの形成、環境汚染物質削減計画のGHG削減効果の定量的評価、キャパシティ・ビルディングの3点について、今後のモデル事業の進め方を協議しました。

### 3. 日時・場所

平成21年6月23日（火）～7月3日（金）

中国北京 日中友好環境保全センター

（日中協力モデル事業分散型排水処理施設完成竣工式典については、江蘇省泰州市及び重慶市忠県にて実施）



日中協力モデル事業分散型排水処理施設完成竣工式典（重慶市）



ワークショップの会場にて

## (参考1) スケジュール及び出席者

### 1. スケジュール

- 6月23日(火) ○日中局長級政策対話(第7回) (日本側 白石順一 水・大気環境局長、中国側 劉長根 汚染物質排出総量抑制司副司長)
- 6月23～24日 ○日中水環境協力セミナー・サイドイベント：日中協力モデル事業分散型排水処理施設完成竣工式典(江蘇省泰州市及び重慶市忠県)
- 6月29～30日 ○窒素・りんの水質総量削減に係る日中共同研究ワークショップ
- 7月1～2日 ○窒素酸化物の大気総量削減に係る日中共同研究ワークショップ
- 7月3日(金) ○コベネフィット・アプローチ共同研究ワークショップ

### 2. 政策対話、各ワークショップ等における主な出席者

(日本側)

環境省：白石順一水・大気環境局長 他、局内担当課室から出席。

有識者：

岡崎 誠	鳥取環境大学環境政策経営学科 教授・副学長
加藤 真	(社)海外環境協力センター 主席研究員
小林 悦夫	(財)ひょうご環境創造協会 顧問
小柳 秀明	(財)地球環境戦略研究機関 北京事務所長
末田 一秀	大阪府環境農林水産部環境管理室交通環境課 課長補佐
中里 太治	(独)国際協力機構 中国事務所 次長
中島 典之	東京大学環境安全研究センター 准教授
藤塚 哲朗	(財)地球環境戦略研究機関 関西研究センター 参与
水落 元之	(独)国立環境研究所 主任研究員
山田 和人	パシフィックコンサルタンツ株式会社 部長

(50音順)

(中国側)

環境保護部：万本太総工師(ハイレベル会談)

環境保護部：劉長根汚染物質排出総量抑制司副司長(政策対話)

環境保護部：汚染物質排出総量抑制司 黄小贈処長

〃

吳險峰処長 他、担当行政官が出席。

中国環境保護部環境観測総站(環境モニタリングセンター)、自動車排気ガス監査センター、環境規画院、環境経済研究センター、華南環境科学研究所

日中友好環境保全センター：唐丁丁主任(センター長)

その他、中国環境科学研究院、清華大学・北京大学・北京師範大学等の大学、広東省・重慶市・上海市・四川省パンジホア市、山東省青島市、江蘇省泰州市等の地方行政官、電力業界・パンジホア鉄鋼等の企業、学会等からも参加。

(参考2)

## 統合的な日中環境協力の展開 ～日中環境汚染対策協力ゴールデンウィーク～

日中の環境協力を一層統合的なものとし、6月23日～7月3日にかけて、日中環境汚染対策協力ゴールデンウィークを実施。

### 6月23日～7月3日 集中的に一連の環境汚染対策協力を実施

日中次官級キックオフミーティング（延期）  
日中局長級政策対話（第7回）

#### 個別イベント

- ①日中水環境協力セミナー（新型インフルエンザ対応のため延期）
- ②日中水環境協力セミナー・サイドイベント：  
日中協力モデル事業分散型排水処理施設完成竣工式典
- ③窒素・りんの水質総量削減に係る日中共同研究ワークショップ
- ④窒素酸化物の大気総量削減に係る日中共同研究ワークショップ
- ⑤コベネフィット・アプローチ共同研究ワークショップ

# スケジュール ～日中環境汚染対策協力モデルデンウイーク～

日時	内容	場所
	日中次官級キックオフミーティング(延期)	北京
	日中水環境協力セミナー(新型インフルエンザ対応のため延期) (日中協力汚染物質総量規制及び農村地域等における分散型排水処理の理論と実践国際セミナー)	北京
6月23日(火)	日中局長級政策対話(第7回)	北京
6月23～24日	日中水環境協力セミナー・サイドイベント (日中協力モデル事業分散型排水処理施設完成竣工式典)	江蘇省泰州市 重慶市忠県
6月29～30日	窒素・リンの水質総量削減に係る日中共同研究ワークショップ	北京
7月1～2日	窒素酸化物の大気総量削減に係る日中共同研究ワークショップ	北京
7月3日(金)	コベネフィット・アプローチ共同研究ワークショップ	北京



## 日中協力モデル事業に係る 分散型排水処理施設完成竣工式典の開催について

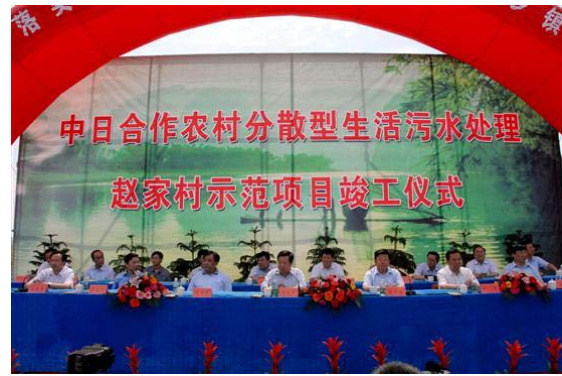
江蘇省泰州市（6月23日）及び重慶市忠県馬灌鎮（6月24日）において、分散型排水処理施設の完成竣工式典が開催されました。江蘇省泰州市の竣工式典には、中国政府から環境保護部周生賢部長（環境大臣）が、重慶市の竣工式典には、日本国環境省から水・大気環境局白石局長が出席しました。

本施設は、排水処理が十分に行われていない中国の農村地域等において、水環境改善対策を普及させるためモデル事業として建設されたものです。モデル事業では、日中政府による協力体制のもと、実施する地域や検証する処理技術を日中の専門家が協議して決定し、日本側が処理施設の整備を、中国側が管渠の整備や土地の確保を行っています。今後、現地にて運転管理を行いながら、管理手法や浄化効果の調査を行って行きます。

今後の中国国内での普及に関して、周部長は環境保護部の資金により泰州市で新たに5箇所の処理施設を建設することを表明されました。



重慶市における竣工式



江蘇省泰州市における竣工式

### 【参考】日中水環境パートナーシップ

平成19年4月の温家宝首相と安倍総理大臣による「日本国政府および中華人民共和国政府による環境保護協力の一層の強化に関する共同声明」、平成20年5月の両国環境大臣によるモデル事業協力実施に関する覚書締結を受け、平成20年度より開始。分散する農業集落毎のコンパクトで地域実情に応じた排水処理技術の普及に向け、セミナーや政策対話、モデル事業による排水処理技術の実証調査、管理指針・普及方策の検討等を実施。

## 重慶市における処理施設



ばっき槽



人工湿地



日中協力のパネル



放流水

## 江蘇省泰州市の処理施設





## 窒素・りんの水質総量削減に係る日中共同研究ワークショップ 開催報告

### 1. ワークショップ開催について

<p>開催名：日中環境汚染対策ゴールドenウィーク 窒素・りんの水質総量削減に係る日中共同研究ワークショップ</p> <p>期間：平成21年6月29日（月）、30日（火）</p> <p>開催地：中華人民共和国北京市日中友好環境保全センターB103 会議室</p> <p>主催者：日本環境省、中華人民共和国環境保護部</p>
---

### 2. 講演概要

	プログラム内容	講演者	講演概要
◆6月30日 講演			
9:30 ～ 10:30	日本の水質総量削減に係る法制度等	環境省水・大気環境局閉鎖性海域対策室長 尾川 毅	水質総量削減制度の概要、基本方針及び削減計画の制定、対象となる汚濁負荷発生源やモニタリング制度、定期的な見直し等の一連の制度体系及び日中共同研究を説明
10:30 ～ 11:30	日本における湖沼の水質保全取組の解説	神鋼リサーチ(株)特別研究員 今西信之	湖沼の水質汚濁状況や環境基準の達成率の推移、湖沼の水環境改善のために制定された湖沼水質保全特別措置法(1985年)の法制度を説明。湖沼法制定するが水環境の改善が進展しないことから、2005年に湖沼法が改正され、点源への規制見直し、面源負荷対策の推進が明記されたこと説明
13:30 ～ 15:30	窒素・りんに係る総量削減制度導入の手引き(素案)の解説	(株)環境情報コミュニケーションズ 取締役 手塚 和彦	我が国の水質総量削減制度の一連の実施手順を取りまとめた、水質総量削減制度導入の手引き(素案)に沿って具体的な実施手順説明
15:50 ～ 17:00	窒素・りんに係る発生負荷量算定手法の解説	(株)環境情報コミュニケーションズ 取締役 手塚 和彦	効果的な削減方法の検討及び削減対策の効果の評価を目的とした発生負荷量の算定方法について、把握する負荷量の範囲、対象地域、発生負荷量算定方法、流入負荷量算定方法を説明
◆6月31日 講演			
9:00 ～ 10:00	窒素・りんの測定方法と排水流量の測定方法の解説	(株)環境情報コミュニケーションズ 取締役 手塚 和彦	総量規制基準の事業場への適用に係る対象事業場、規制基準の算出式、計測頻度等の制度説明。COD、窒素及びりん濃度の計測方法、全窒素・全りんの簡易・半自動計測器、排水流量計測方法等の技術的説明
10:45 ～ 11:30	中国重点水質汚染物排出総量規制に関する法制	環境保護部環境規画院水環境規画部 主任 李 雲生	中国におけるCOD水質総量削減の制度体系、経緯、実施方法および問題・課題等の説明
13:30 ～ 16:50	総合意見交換	日中双方検討会委員・ 専門家	日本と中国の水質総量規制の制度の違いや今後の共同研究の進め方などについて意見交換

### 3. 日中共同研究ワークショップの開催結果

- 日本及び中国双方の水質総量削減制度について、法体系や実施制度に関わる資料を日中の協力の下に日中共同研究においてまとめていくことを提案。
- 中国側も日中の水質総量削減制度に係る資料を取りまとめることで合意。
- 第2回の日中共同研究において、法体系や実施制度に関わる資料素案のレビューを行い、第3回目の日中共同研究において最終的に取りまとめることを予定。